

業務部速報

発信者》JREU
仙台地本業務部 / 湯ノ目
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡1-4-3
TEL 022-297-0155
FAX 022-291-3070
JR 031-3981~3
FAX 031-3980
2022年 3月 27日

「2022年度郡山総合車両センター業務について」に関する申し入れ

団体交渉①

2022年3月24日に申13号団体交渉を行いました。概要を記載します。
詳細など不明な点等ございましたら、地本業務部に連絡を下さい。

(1項)「変革2027」及び「グループ安全計画2023」の方針に基づき、更なる安全・安定輸送の提供に努めていくために、2022年度で現場に現れる具体的取り組みを2021年度と比較して変化する点を明らかにすること。

(回答)「変革2027」及び「グループ安全計画2023」の方針に基づく郡山総合車両センターの取り組みは、箇所において周知することとなる。

- ・箇所における周知は、例年通り、4月1日に施工科と計画科の2回に分けて説明会で、「変革2027」「グループ安全計画2023」と新しい取り組みを含めてある程度大きく話行。各科、各グループで具現化に向けて調整することとなる。
- ・新しい委員会については、現段階では把握していないが、途中立ち上がりでの書面で周知する。
- ・DXに関して、タブレットなど個人貸与しているので、情報取得の体制は出来ていて、有効活用は出来る。前向きな取り組みをお願いしたい。・若手からデジタル化に関して決算に関しての意見はあるが、組織としての決算管理はある。しかし、一部電子決算化している。
- ・安全安定輸送に関する取り組みは、予算内示できない状態。検討されているのは、「忍び錠取替」「軸箱…取替」などがある。

(2項)「変革2027」及び「グループ安全計画2023」の方針に基づき、生産性を高めていかなければならないが、2022年度は何をどの程度向上させていかなければならないのかを具体的に明らかにすること。

(回答)引き続き、生産性向上に取り組んでいく考えである。

- ・生産性向上に関して、郡山総合車両センターにおいて、改善活動やコストダウンを前向きに進めて頂いている。今まで同様に貪欲に進めて頂きたい。S&E構想に関して、129系の部品修繕を行う。生産性の向上は、現場第一線の技術開発においても推進していく。

(3項)安全で快適な車両の提供と、輸送品質向上の実現に向け、車両に対する適正な保全方法の確立等にグループ会社と一体となり取り組んでいくとあるが、適正な保全方法を確立するための施策と取り組みを明らかにすること。

(回答)引き続き、グループ会社と一体となった効率的な業務執行体制を構築していく考えである。

- ・ベテラン社員の退職により、一定の低下はあるが、各グループ会社社員の採用も行っており、破綻するレベルまでは落ちない。JR本体でも基礎技術教育等々により一定レベルを保持している。
- ・エルダー63、64歳、3~4人で行っている班もある現状に対して、人員割り当ては受託会社が行うが人の当て込み方の話はしたい。
- ・一方、本体社員は、「人ならではの業務」を推進する中、取り替えて終わりではなく、劣化傾向を把握してどんな方法でメンテナンスするかを考えたり、どのような周期でメンテナンスするかを考えたりする業務ヘシフトすることになる。そのような中で、コストダウンを図り、最適なメンテナンス手法を構築していきたい。